

Q キーワードで検索できます

奉行クラウド ヘルプセンター > 勘定奉行クラウド[建設業編] > リリースノート

ヘルプを印刷

2024/04/05 (予定) 機能追加

資金繰り推移表から資金繰り明細表にジャンプして、スムーズに金額を確認したい 他 21 件

トピック

- 会計帳票
 - 資金繰り推移表から資金繰り明細表にジャンプして、スムーズに金額を確認したい
 - 資金繰り推移表に資金繰り項目コードを出力したい
 - 集計表で、部門グループの金額と並べて、内訳の部門の金額も確認したい
- 証憑
 - 申請した証憑が承認・否認されたら通知してほしい [証憑収集](#)
 - AI-OCRで読み取ったインボイス登録番号を一目で分かるようにしてほしい [AI-OCR](#)
 - AI-OCRで読み取った証憑項目を、空欄で登録したい [AI-OCR](#)
- 仕訳伝票承認
 - 仕訳伝票の多段階承認に対応 [奉行V ERP](#)
 - 自己承認ができないように制御したい
 - 当サービスで承認する必要がない仕訳伝票を、承認済みの仕訳伝票として登録したい
 - 承認された仕訳伝票への証憑の添付・解除ができないように制御したい
- 取引入力
 - 仕訳伝票明細に付加できる明細区分に対応 [奉行V ERP](#)
 - 整理仕訳を月ごとに登録したい
 - [銀行入出金明細入力] メニューなどでも伝票摘要を入力したい
 - 『給与奉行クラウド』『総務人事奉行クラウド』から仕訳伝票を連携する際に、基準の勘定科目を設定したい
- 配賦処理
 - 複数の科目の配賦基準・配賦先科目を一括で設定したい
- 決算処理
 - IFRS組替仕訳を入力したい [奉行V ERP](#)
 - 『達人シリーズ』（法人税）への「完成工事原価報告書」「株主資本等変動計算書」の連携に対応
- 請求書
 - メールに添付できる上限サイズ（請求書と任意ファイルの合計）を2MBから20MBに変更
- その他
 - 仕訳伝票や業者などの汎用データの自動出力/受入に対応 [奉行V ERP](#)
 - 汎用データ作成時の出力条件を追加
 - [App Connect] メニューを追加 [奉行V ERP](#)

- 時間や日付等を入力する際に、Excelからコピー&ペーストしたい

会計帳票

資金繰り推移表から資金繰り明細表にジャンプして、スムーズに金額を確認したい

[資金繰り推移表] メニューで資金繰り項目の内訳金額を確認したい場合に、ダブルクリックして [資金繰り明細表] メニューにジャンプし、資金繰り項目ごとの明細の金額を確認できるようになりました。

N:Nの仕訳の場合や、貸借で別々の資金繰り項目を設定している場合も、明細の金額を資金繰り推移表と比較しながら確認できます。

参考 今までどおり元帳で明細を確認する場合は、[F6:ジャンプ] を押します。

こちらの機能追加に伴い、当サービスのメニュー名を変更しています。

変更前	変更後
[財務会計 - 会計帳票 - 資金繰り - 資金繰り表] メニュー	[資金繰り推移表] メニュー

追加メニュー

[財務会計 - 会計帳票 - 資金繰り - 資金繰り明細表] メニュー

対応メニュー

[財務会計 - 会計帳票 - 資金繰り - 資金繰り推移表] メニュー

資金繰り推移表に資金繰り項目コードを出力したい

資金繰り項目の名称だけでなく、コードも出力して確認できるようになりました。
画面・印刷などそれぞれで、資金繰り項目コードを出力するかを選択できます。

対応メニュー

[財務会計 - 会計帳票 - 資金繰り - 資金繰り推移表] メニュー

集計表で、部門グループの金額と並べて、内訳の部門の金額も確認したい

[集計表] の各メニューの [条件設定] 画面で、「グループ内の部門も表示する」にチェックを付けて部門グループを指定すると、その部門グループの金額と並べて、内訳の部門の金額も確認できるようになりました。

集計部門

部門

部門グループ

グループ内の部門も表示する

部門グループ E01 東日本

コード	部門名
003	北関東支店
004	横浜支店
005	千葉支店

削除(D)

内訳の部門

部門集計表

集計期間 4月1日 3月

税抜 発生 単位:円

損益計算書

コード	科目名	東日本	北関東支店	横浜支店	千葉支店
500	完成工事高	637,056,229	231,128,200	222,583,188	183,344,841
515	完成工事引当高	1,001,806	463,786	538,020	0
P1010	完成工事高	636,054,423	230,664,414	222,045,168	183,344,841
P1020	兼業事業売上高	0	0	0	0
P1000	売上高	636,054,423	230,664,414	222,045,168	183,344,841
C1000	完成工事原価	0	0	0	0
600	期首商品及び製品棚卸高	3,500,000	1,100,000	1,300,000	1,100,000
604	仕入高	225,448,132	78,558,396	78,558,396	68,331,340
614	期末商品及び製品棚卸高	20,101,000	6,678,000	6,749,000	6,674,000
P1110	兼業事業売上原価	208,847,132	72,980,396	73,109,396	62,757,340
P1100	売上原価	208,847,132	72,980,396	73,109,396	62,757,340
P2010	完成工事総利益	636,054,423	230,664,414	222,045,168	183,344,841

F1 ヘルプ F6 シャンプ F8 再集計 F10 条件設定 F12 閉じる

対応メニュー

[財務会計 - 会計帳票 - 集計表 - 部門集計表] メニュー

[財務会計 - 会計帳票 - 集計表 - セグメント1集計表] メニュー (『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[財務会計 - 会計帳票 - 集計表 - セグメント2集計表] メニュー (『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[財務会計 - 予算管理 - 予算実績集計表] メニュー (『Bシステム』以上、または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[財務会計 - 会計帳票 - 集計表 - 工事集計表] メニュー

[原価管理 - 原価帳票 - 工事原価集計表] メニュー

証憑

申請した証憑が承認・否認されたら通知してほしい

証憑収集

『証憑収集オプション for 勘定奉行クラウド』をご利用で、証憑承認を「使用する」場合に、証憑が承認・否認されるとメールで通知できるようになりました。

また、承認者にも、承認依頼をメールで通知できます。

- 通知メールを受け取るには、『管理ポータル』の [利用者] メニューで、あらかじめメールアドレスを登録する必要があります。
- メインメニュー右上の から [連絡先設定] メニューで、どの通知を受け取るかを個別に設定できます。

参考 メール以外にも、『Microsoft Teams』や『LINE WORKS』でも通知できます。別途、契約が必要です。

追加メニュー

メインメニュー右上の から [連絡先設定] メニュー

対応メニュー

[法人情報 - 経理規程 - 証憑設定 - 証憑ワークフロー] メニュー (『奉行クラウド』をご利用の場合)

メインメニュー右上の から [ワークフロー] メニュー (『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

AI-OCRで読み取ったインボイス登録番号を一目で分かるようにしてほしい

AI-OCR

『AI-OCRオプション for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合に、読み取ったインボイス登録番号を黄色でハイライト表示し、どの部分を読み取ったかが一目で分かるようになりました。

対応メニュー

[財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 証憑入力] メニュー
証憑収集アプリの [証憑アップロード] メニュー (『証憑収集オプション for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合)
証憑収集スマホアプリの証憑入力画面 (『証憑収集オプション for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合)

AI-OCRで読み取った証憑項目を、空欄で登録したい

AI-OCR

『AI-OCRオプション for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合に、読み取った証憑項目を手修正して、空欄で登録できるようになりました。

参考 [証憑種類] メニューで、「必須」にチェックがついている項目は、空欄で登録できません。

対応メニュー

[財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 証憑入力] メニュー
証憑収集アプリの [証憑アップロード] メニュー (『証憑収集オプション for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合)
証憑収集スマホアプリの証憑入力画面 (『証憑収集オプション for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合)

仕訳伝票承認

仕訳伝票の多段階承認に対応

奉行V ERP

仕訳伝票の承認ワークフローを作成できるようになりました。
ワークフローでは、多段階承認や、伝票合計金額による承認ルートに分岐などに対応できます。

No.	条件名
1	伝票合計金額が10万円以上
2	10万円未満

条件名: 伝票合計金額が10万円以上
条件: 【仕訳伝票】の【伝票合計金額】が【10】以上

追加メニュー

メインメニュー右上の [設定] から [ワークフロー] メニュー

対応メニュー

仕訳伝票を起票するすべてのメニュー

自己承認ができないように制御したい

自身が登録した仕訳伝票の承認ができないように、制御できるようになりました。
自己承認を許可しないことで、伝票入力者が申請した仕訳伝票を承認者が修正したり、承認者自身が申請した仕訳伝票を、第三者の目に触れずに承認されることを防げます。

対応メニュー

[法人情報 - 経理規程 - 仕訳伝票設定 - 仕訳伝票承認設定] メニュー (『奉行クラウド』をご利用の場合)

メインメニュー右上の [設定] から [ワークフロー] メニュー (『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

当サービスで承認する必要がない仕訳伝票を、承認済みの仕訳伝票として登録したい

以下の例のように、当サービスで承認する必要がない仕訳伝票を、承認済みの仕訳伝票として登録できるようになりました。

例

- 業務連携で起票する『債務奉行クラウド』で承認済みの伝票
- [部門配賦] メニューで自動で作成される部門配賦伝票
- 外部サービスから、APIを使って直接登録された仕訳伝票
- 汎用データで受け入れた、外部サービスで作成された仕訳伝票

承認済みの仕訳伝票として起票することで、重複して承認する手間を省けます。
どの仕訳伝票を承認済みで登録するかを、登録する経路別に設定できます。

対応メニュー

[法人情報 - 経理規程 - 仕訳伝票設定 - 仕訳伝票承認設定] メニュー

承認された仕訳伝票への証憑の添付・解除ができないように制御したい

承認された仕訳伝票への証憑の添付・解除ができないように、制御できるようになりました。
また、承認された仕訳伝票への証憑の添付・解除が許可されている場合は、仕訳伝票を1枚ずつ確認できるメニューであれば、[証憑一括添付] メニュー以外でも添付・解除ができます。

対応メニュー

[法人情報 - 経理規程 - 仕訳伝票設定 - 仕訳伝票承認設定] メニュー

[仕訳伝票入力] メニューのように、仕訳伝票を1枚ずつ確認できるメニュー

取引入力

仕訳伝票明細に付加できる明細区分に対応

奉行V ERP

業務システムから当サービスへ仕訳伝票を受け入れる際に、仕訳伝票明細に付加できる明細区分を利用できるようになりました。
明細区分は、10種類利用できます。当サービスの帳票で明細区分を指定して集計・分析できます。
中でも [取引明細リスト] メニューでは、以下のように詳細に確認できます。

例 明細区分を担当者とした場合

- 明細区分ごとに小計を出しながら仕訳伝票明細を確認できます。

伝票日付	伝票No.	摘要	借方本体金額	貸方本体金額	残高	業者	担当者コード	担当者
繰越								
年10月 1日	000015	掛売販売	0	500,000	500,000	太平洋販売株式会社	100000	山田 一樹
年10月 4日	000016	環境構築	0	113,637	613,637	株式会社茨城電機	100000	山田 一樹
年10月12日	000023	掛売販売	0	384,550	998,187	太平洋販売株式会社	100000	山田 一樹
年10月15日	000022	環境構築	0	381,819	1,380,006	大阪事務株式会社	100000	山田 一樹
山田 一樹 小計 (4件)			0	1,380,006				
年10月 1日	000017	掛売販売	0	409,091	1,789,097	神奈川物産株式会社	100001	川谷 しげる
年10月 1日	000021	掛売販売 繰引分	14,500	0	1,774,597	神奈川物産株式会社	100001	川谷 しげる
年10月 8日	000018	掛売販売	0	201,819	1,976,416	太平洋販売株式会社	100001	川谷 しげる
年10月10日	000024	掛売販売	0	409,091	2,385,507	太平洋販売株式会社	100001	川谷 しげる
川谷 しげる 小計 (4件)			14,500	1,020,001				
年10月 1日	000020	環境構築	0	201,819	2,587,326	高松簿西館店株式会社	100002	小川 いずみ
年10月10日	000019	他製品販売	0	595,455	3,182,781	名古屋電機商事株式会社	100002	小川 いずみ
小川 いずみ 小計 (2件)			0	797,274				
合計 (10件)			14,500	3,197,281	3,182,781			

- 明細区分を集計軸とすることで、特定の科目・明細区分の取引と残高の推移を確認できます。

伝票日付	伝票No.	摘要	借方本体金額	貸方本体金額	残高
年10月 1日	000017	掛売販売	0	409,091	409,091
年10月 1日	000021	掛売販売 債別分	14,500	0	394,591
年10月 8日	000018	掛売販売	0	201,819	596,410
年10月10日	000024	掛売販売	0	409,091	1,005,501
合計 (4件)			14,500	1,020,001	1,005,501

追加メニュー

【法人情報 - 明細区分 - 明細区分】メニュー

メインメニュー右上の  から [汎用データ作成 - 法人情報 - 明細区分データ作成] メニュー

メインメニュー右上の  から [汎用データ受入 - 法人情報 - 明細区分データ受入] メニュー

対応メニュー

【財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力】メニュー（『奉行クラウド App Connect』経由で仕訳伝票を起票する場合）

【財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 取引ファイル受入】メニュー

【財務会計 - 取引入力 - 取引明細リスト】メニュー

【財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票入力】メニュー

【財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票一括更新 - 仕訳伝票一括修正】メニュー

【財務会計 - 会計帳票 - 仕訳帳】メニュー

【財務会計 - 会計帳票 - 元帳 - 元帳】メニュー

【財務会計 - 会計帳票 - 日計表】メニュー

【財務会計 - 会計帳票 - 合計残高試算表 - 合計残高試算表】メニュー

【財務会計 - 会計帳票 - 勘定科目内訳表】メニュー内のメニュー

【財務会計 - 会計帳票 - 集計表】メニュー内のメニュー

【財務会計 - 会計帳票 - 一覧表 - 業者一覧表】メニュー

【財務会計 - 会計帳票 - 推移表】メニュー

【財務会計 - 会計帳票 - 対比表】メニュー

【オリジナル帳票 - 帳票出力 - 帳票出力】メニュー（『オリジナル帳票オプション for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合）

メインメニュー右上の  から [汎用データ受入 - 財務会計 - 仕訳伝票データ受入] メニュー

整理仕訳を月ごとに登録したい

整理仕訳を月ごとに登録できるようになりました。

【経理業務設定】メニューの [取引入力] ページで、整理仕訳の登録時期を「3：月ごと」に設定します。

対応メニュー

【法人情報 - 経理規程 - 経理業務設定】メニュー

整理仕訳を登録できるすべてのメニュー

【銀行入出金明細入力】メニューなどでも伝票摘要を入力したい

伝票摘要の詳細は、目的から探す「[伝票摘要とは](#)」をご参照ください。

対応メニュー

【財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 銀行入出金明細入力】メニュー

【財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - キャッシュレス明細入力】メニュー

【財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 証憑入力】メニュー

【財務会計 - 取引入力 - 反対仕訳伝票一括起票】メニュー

【財務会計 - 取引入力 - 通貨換算 - 為替差損益計上】メニュー（『外貨入力オプション for 奉行クラウド』をご利用の場合）

【原価管理 - 労務費処理 - 労務費計上】メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

【原価管理 - 配賦処理 - 部門配賦 - 部門配賦】メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[原価管理 - 配賦処理 - 工事配賦 - 工事配賦] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[原価管理 - 振替処理 - 完成振替 - 完成振替] メニュー

[原価管理 - 振替処理 - 棚卸振替 - 棚卸振替] メニュー

『給与奉行クラウド』『総務人事奉行クラウド』から仕訳伝票を連携する際に、基準の勘定科目を設定したい

部門ごとに異なる勘定科目を使用して連携する場合に、基準の勘定科目を設定することで、効率よく勘定科目を設定できるようになりました。基準の勘定科目は、[業務連携コード設定] 画面で設定します。

『給与奉行クラウド』『総務人事奉行クラウド』（『退職金管理オプション for 総務人事奉行クラウド』をご利用の場合）の [仕訳伝票コード設定] メニューからでも、同様に設定できます。

対応メニュー

[財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力] メニュー

配賦処理

複数の科目の配賦基準・配賦先科目を一括で設定したい

配賦元科目を絞り込んで、一括で設定できるようになりました。複数の科目を一括で同じ設定にする場合に便利です。

例 配賦元科目「通信費」「消耗品費」「水道光熱費」の配賦基準を「社員数比」に設定する

コード/配賦元科目の▼をクリックして科目を絞り込み、配賦基準の👉をクリックして「社員数比」を指定し、[OK] ボタンをクリックします。



対応メニュー

[原価管理 - 配賦処理 - 部門配賦 - 科目別部門配賦基準設定] メニュー

[原価管理 - 配賦処理 - 工事配賦 - 科目別工事配賦基準設定] メニュー

決算処理

IFRS組替仕訳を入力したい

奉行V ERP

個社ごとの財務諸表を日本会計基準の金額で作成した後に、IFRS組替仕訳を入力できるようになりました。

また、日本会計基準の金額とIFRS組替仕訳の金額を合算した「IFRS組替後金額」を連結会計システムへ出力したり、[合計残高試算表(IFRS)] メニューで金額を確認して、親会社に報告することもできます。

追加メニュー

[決算処理 - IFRS組替 - 仕訳伝票入力(IFRS)] メニュー

[決算処理 - IFRS組替 - 取引ファイル受入(IFRS)] メニュー

[決算処理 - IFRS組替 - 仕訳帳(IFRS)] メニュー

[決算処理 - IFRS組替 - 合計残高試算表(IFRS)] メニュー

[決算処理 - IFRS組替 - 仕訳伝票履歴(IFRS)] メニュー

[決算処理 - IFRS組替 - 期首残高(IFRS)] メニュー

メインメニュー右上の🔍から [汎用データ作成 - 決算処理 - 期首残高データ作成(IFRS)] メニュー

メインメニュー右上の🔍から [汎用データ受入 - 決算処理 - 期首残高データ受入(IFRS)] メニュー

対応メニュー

[法人情報 - 経理規程 - 経理業務設定] メニュー

[決算処理 - 他システム連携 - 連結会計データ作成] メニュー

『達人シリーズ』（法人税）への「完成工事原価報告書」「株主資本等変動計算書」の連携に対応

他システム連携で、『法人税の達人』『グループ通算の達人』『連結納税の達人』に連携するデータとして、「完成工事原価報告書」「株主資本等変動計算書」を追加しました。

対応メニュー

[決算処理 - 他システム連携 - 達人データ作成] メニュー

請求書

メインメニュー左側の「サービス選択」に「債権奉行」が表示されている場合は、以下も併せてご参照ください。

メールに添付できる上限サイズ（請求書と任意ファイルの合計）を2MBから20MBに変更

参考 任意ファイルの上限サイズは今まで通り2MBです。

その他

仕訳伝票や業者などの汎用データの自動出力/受入に対応

奉行 V ERP

当サービスで登録したマスターや仕訳伝票を、汎用データ（CSV/txtファイル）として所定のパスに自動で出力したり、所定のフォルダーに保存されている汎用データを、当サービスに自動で受け入れたりできるようになりました。

例えば、汎用データを自動で受け入れるスケジュールを設定しておく、設定した日時に、他システムから出力したファイルを、当サービスに自動で受け入れできます。

以下の汎用データの出力/受入に対応しています。

- 仕訳伝票
- 業者
- 工事
- 工種
- セグメント1
- セグメント2

追加メニュー

メインメニュー右上のから [自動連携] メニュー

汎用データ作成時の出力条件を追加

[汎用データ作成] メニュー等で補助科目・工種・注文者のデータを作成する際に、出力条件として、利用情報（マスターを当サービスに登録した日時や利用者など）やデータの出力順を設定できるようになりました。

対応メニュー

[法人情報 - 経理規程 - 勘定科目 - 補助科目] メニュー

[工事管理 - 工種 - 工種] メニュー

[工事管理 - 注文者 - 注文者] メニュー

メインメニュー右上のから [汎用データ作成 - 法人情報 - 補助科目データ作成] メニュー

メインメニュー右上のから [汎用データ作成 - 工事管理 - 工種データ作成] メニュー

メインメニュー右上のから [汎用データ作成 - 工事管理 - 注文者データ作成] メニュー

[App Connect] メニューを追加

奉行 V ERP

[App Connect] メニューからさまざまなサービスと連携できます。

連携したいサービスごとに『勘定奉行V ERPクラウドコネクタ』をご購入いただくことで、簡単な設定を行うだけで連携できるよ

うになります。

なお、『勤定奉行V ERPクラウドコネクタ』を利用するには、『勤定奉行V ERPクラウド』の「API version」が必要です。

追加メニュー

[App Connect] メニュー

時間や日付等を入力する際に、Excelからコピー&ペーストしたい

当サービスで時間や日付等を入力する際に、Excel等からコピー&ペーストできるようになりました。

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。